

雨天決行。荒天の場合は、12月12日(日)に延期

コース案内

能勢電鉄・日生中央駅【受付】 → 35分 → 紫合 → 15分 → 南田原 → 30分 → ジャリ池 → 10分 → 村上中池 → 20分 → 青木間歩 → すく → 金山彦神社 → 10分 → 多田銀銅山【悠久の館】 → 35分 → 猪名川

45分 → 40分 → 総合公園 → 静思館 → 能勢電鉄・日生中央駅【ゴール】

約14km



**スタート**  
日生中央駅  
**ゴール**  
ゴール受付  
12時～16時まで

**ゴール受付は16時まで**

**特典**

- ゴールの日生中央駅前広場にて、猪名川町の物産展あり
- ゴールにてノルディック・ウォーク体験を実施

(m)

スタート 日生中央駅 紫合 南田原 ジャリ池 村上中池 青木間歩 悠久の館 猪名川総合公園 静思館 日生中央駅 ゴール

**猪名川町立 静思館**

国登録有形文化財「静思館」は、資産家だった旧富田家の邸宅。約2,500㎡の敷地に、純日本庭園、かまどのある土間と7室の和室からなる母屋・茶室・土蔵・番小屋などがある。静かで懐かしいたたずまいに、日本人としての心を思い出し、名前としての心を思い出したくなる場所だ。

**詳細図**

青木間歩

金山彦神社

野尻川 至 広根

**多田銀銅山 悠久の館**

多田銀銅山について詳しく知らないなら「悠久の館」。鉱石の採掘に使われた道具や鉱石の美術、鉱山について記された古文書や絵図などが紹介されている。最盛期・江戸時代の代官所模写は猪名川中学校科学部の有志の作。「銀山三千軒」といわれた住時のにぎわいを知ることができる。

**青木間歩**

大量の銀銅が採掘され、17世紀に最盛期を迎えた多田銀銅山は、1973年に閉山されるまで、多くの富と夢を紡いできた。「豊臣の埋蔵金伝説」も残る。江戸時代の記録によると、全部で約3,000カ所もの大小の間歩（まづ＝坑道）のうち、6割以上が猪名川町にあった。

その一つ、アオキが周囲に茂っていたことからその名がついたといわれる「青木間歩」。現在たどつ公開されている。江戸時代のものと思われる手掘りの露天掘り跡と、機械掘りの坑道の両方を見ることが出来る。全長約52mの間歩の中は、外の気温にかかわらず10度前後。千年の昔から汗を流した人々の息づかいが聞こえるようだ。

◎緑を守り育てましょう/交通ルールを守り車両等に十分注意してください。  
◎ゴミや空き缶は必ず持ち帰りましょう/タバコの火の後始末を確実に!  
◎受動喫煙を防止するため「歩行中の禁煙」にご協力ください。

**本年はご参加ありがとうございました。**  
**朝日・五私鉄リレーウォーク**  
**2011年もご参加お待ちしております。**

主催/近鉄・阪神・京阪・南海・阪急  
後援/朝日新聞社・歴史街道推進協議会・朝日放送・日刊スポーツ

全部で5回がんばったあなたには  
**五私鉄制覇賞**  
オリジナルブランケット (ポーチ付き)  
※写真はイメージです

全5回中、3回または4回参加の方  
(ただし、最終回に参加された方のみ)  
**朝日敢闘賞**  
オリジナルジャガードマフラータオル  
※写真はイメージです

※各回参加の方に記念バッジを進呈



**【参加条件】**

①健康状態のすぐれない方は参加をご遠慮ください。ご自分の体力、体調をチェックされた上でご参加ください。ただし、子ども(小学生以下)と75歳以上の方の単独参加はご遠慮ください。

②参加者のけがや他に与えた損害等については、主催者は一切の責任を負いません。



このチラシは再生紙を使用しています。